

日本国特許庁（JPO）及びフランス産業財産庁（INPI）との間の
特許審査ハイウェイ試行プログラムにおける JPO への PPH 申請手続（仮訳）

2025年1月1日改定

出願人は、JPO-INPI 特許審査ハイウェイ（PPH）試行プログラムにおいて、以下の要件を満たす日本国特許庁（JPO）への出願について、関係書類の提出等の所定の手続を取ることにより、INPI 出願に基づいて早期審査を申請することができる。

出願人は、PPH 試行プログラムの申請に際し、本ガイドラインの「オンライン PPH 申請手続の様式記入例」で示す PPH 申請書を JPO に提出しなければならない。

両庁は、プログラムへの参加申請数が管理可能なレベルを超えた場合、又は他の理由により、PPH 試行プログラムを終了することができる。プログラムを終了する場合、事前に告知する。

PPH 試行プログラムは2025年1月1日から行い、2029年12月31日に終了いたしますが、JPO とフランス産業財産庁（INPI）による調査と評価の後に延長される可能性があります。

1. 要件

(a) PPH を申請する日本出願（以下、当該出願という）及び対応する INPI 出願において、優先日あるいは出願日のうち、最先の日付が同一である。

具体的には、当該出願（PCT 出願の国内移行出願も含む）が以下のいずれかに該当する。

(Case I) INPI 出願を基礎として、パリ条約に基づく優先権を正当に主張する出願（附属書 I の図 A、B、C、D 及び E 参照）

(Case II) INPI 出願のパリ条約に基づく優先権の正当な主張の基礎となる出願（附属書 I の図 F 及び G 参照）

(Case III) INPI 出願と同一の優先権書類を有する出願（附属書 I の図 H、I 及び J 参照）

（注）INPI 出願は PCT 出願の国内移行出願を含まない。

(b) INPI で特許可能と判断された一つ以上の請求項を有する、少なくとも一つの対応する INPI 出願が存在する。

出願が特許査定を受けていない場合でも、INPI の審査官が最新のオフィスアクションで請求項に特許性があると明らかに示す場合、当該請求項は「特許可能と判断」される。JPO への PPH 申請が、2020 年 5 月 22 日より前に INPI に提出された出願に基づいたものである場合、(i) 予備調査報告又は(ii) 見解書のみが当該オフィスアクションと見なされる。

オフィ�アクションの例：

- (i) 予備調査報告
- (ii) 見解書
- (iii) B 公開
- (iv) 調査報告 (B 公開に添付)
- (v) 拒絶査定案 (Projet de décision de rejet)
- (vi) 拒絶査定 (Décision de rejet)
- (vii) 不服申立後の決定 (Décision statuant sur l'opposition)

(c) PPH における審査を申請する出願のすべての請求項が、INPI で特許可能と判断された一つ以上の請求項と十分に対応しているか、十分に対応するように補正されている。

請求項が「十分に対応する」と見なされるのは、翻訳や請求項の記載形式による差異を考慮した上で、JPO 出願の請求項が INPI 出願の請求項と同一又は類似の範囲を有する場合、又は JPO 出願の請求項の範囲が INPI 出願の請求項の範囲より狭い場合である。例えば、INPI 出願の請求項が明細書（詳細な説明、請求の範囲の少なくとも一方において）で裏付けられる追加的機能によって更に限定するように補正される場合、当該請求項の範囲は狭められる。

INPI で特許可能とされた請求項に新たな又は異なるカテゴリーの請求項が加えられた JPO 出願の請求項は、INPI 出願の請求項に十分に対応しているとは見なされない。例えば、INPI 出願の請求項が製品の製造方法に関する請求項（プロセスクレーム）のみからなる場合、プロセスクレームに従属する製品クレームが追加された JPO 出願の請求項は INPI 出願の請求項に十分に対応しているとは見なされない。

PPH 申請が受理された場合、ファーストオフィ�アクション発行後に補正又は追加される請求項は、INPI で特許可能とされた請求項に十分に対応している必要はない。

(d) PPH 申請時に JPO が出願の審査に着手していない (附属書 I の図 K 参照)

(e) 「実体審査請求」が PPH 申請時に行われるか又はそれ以前に行われていなければならない。

2. 提出書類

以下の書類(a)～(d)を「早期審査に関する事情説明書」に添付して提出しなければならない。一部の書類は、提出不要となる場合がある。提出が省略される書類について

も、書類名を「早期審査に関する事情説明書」に記載する必要があることに留意されたい（詳細は様式例を参照）。

(a) INPI が対応出願に対して発行した (INPI における特許性の実体審査に関わる) すべてのオフィスアクションの写し、及びその翻訳文¹

翻訳言語として日本語又は英語が認められる。出願人は、INPI の特許データベース²により入手可能なオフィスアクションについては写しの提出を省略できるが、自ら用意した日本語又は英語の翻訳文を添付しなければならない。

(b) INPI で特許可能と判断されたすべての請求項の写し及びその翻訳文¹

翻訳言語として日本語又は英語が認められる。出願人は、INPI の特許データベース²及び EPO のドシエアクセスシステムにより入手可能な請求項については、請求項の言語に関わらず写しの提出を省略できる。請求項が英語の場合、出願人は自ら用意した日本語又は英語の翻訳文を添付する必要はない。

(c) INPI の調査報告で引用された文献の写し

引用文献が特許文献の場合、JPO は通常それらを所有しているため、出願人は提出を省略できる。JPO が特許文献を所有していない場合、出願人は審査官の求めに応じて当該特許文献を提出しなければならない。非特許文献はすべて提出しなければならない。引用文献の翻訳文は不要である。

(d) 請求項対応表

出願人は、JPO 出願のすべての請求項が INPI 出願の特許可能な請求項に十分に対応していることを示す請求項対応表を提出しなければならない。

請求項が INPI 出願の請求項の逐語訳である場合、出願人は対応表に「当該請求項は INPI 出願の請求項と同様である」と記入するだけでよい。請求項が逐語訳でない場合、出願人は上記 1 の要件(c)を基準に各請求項が十分に対応していることを説明する必要がある。（記入例を参照のこと）

出願人は、並行した手続又は以前の手続において上記書類(a)から(d)を JPO にすでに提出している場合、その旨の記載をもって提出に代え、添付を省略できる。

¹ 機械翻訳は認められるが、翻訳が不十分であるためにオフィスアクション又は請求項の概要を把握できない場合、審査官は出願人に再翻訳を求めることができる。

² <https://bases-brevets.inpi.fr/en/home.html>

3. PPH 試行プログラムにおける早期審査申請のための「早期審査に関する事情説明書」の記入例

(1) 事情説明

出願人は、PPH 試行プログラムにおける早期審査を JPO に申請する際、「早期審査・早期審理ガイドライン」³で定める手続に基づいた「早期審査に関する事情説明書」を含む申請書を提出しなければならない。

出願人は、出願が上記 1 で示す要件(a)を満たすこと、早期審査を PPH 試行プログラムにおいて申請する旨を記載しなければならない。また、対応する INPI 出願の出願番号、公開番号、又は特許番号も記載しなければならない。

※特許可能と判断された一つ以上の請求項を含む出願が、上記要件(a)(Case I)から(Case III)のいずれかに該当する INPI 出願と異なる場合（例えば、原出願の分割出願）、特許可能と判断された請求項を含む出願の出願番号、公開番号、又は特許番号、及び二つの出願の関係についても記載しなければならない。

(2) 提出書類

出願人は上記 2 で示す必要書類について、提出を省略する書類も含めて、書類名を記載しなければならない。

(3) 注意点

オンライン手続と書面手続では「早期審査に関する事情説明書」の様式が異なる。

「早期審査・早期審理ガイドライン」で各様式を確認のこと。（「早期審査様式 1（オンライン手続の場合）」「早期審査様式 2（書面手続の場合）」）オンライン手続の場合の様式記入例は以下を参照。

³ <https://www.jpo.go.jp/e/system/patent/shinsa/jp-soki/document/index/guideline.pdf>

オンライン PPH 申請手続の様式記入例

(先行技術文献調査報告の見解書で特許可能と示された請求項に基づく申請の例)

【書類名】 早期審査に関する事情説明書

The name of this paper

【提出日】 令和00年00月00日

Date of filing

【あて先】 特許庁長官殿

Destination

【事件の表示】

【出願番号】 特願 0000-000000

Application number

【提出者】

【識別番号】 000000000

【住所又は居所】 〇〇県〇〇市〇丁目

【氏名又は名称】 〇〇〇〇〇

The name and address of the submitter

【代理人】

【識別番号】 000000000

【住所又は居所】 〇〇県〇〇市〇丁目

【氏名又は名称】 〇〇 〇〇

The name and address of the attorney

Bibliographic information

【早期審査に関する事情説明】

The explanation of circumstances concerning accelerated examination

1. 事情

特許審査ハイウェイに基づく早期審査の申請を行う。

本出願はフランス産業財産庁への出願(特許出願番号00000000)をパリ条約に基づく優先権の基礎出願とする出願である。当該フランス出願に対しては、フランス産業財産庁により特許査定が発行されている。

1. Circumstances

The accelerated examination is requested under the PPH program.

This application is an application validly claiming the priority under the Paris Convention to the corresponding INPI application (the application number is 000000000), and the Decision to Grant a Patent has been issued by the INPI.

以下において、「引用非特許文献1」とは、「村岡洋一著、「コンピュータサイエンス大学講座(第11巻) コンピュータ・アーキテクチャ」、第2版、株式会社近代科学者、1985年11月、p.123-127」である。

In what follows, “non-patent literature1” is “Yoichi Muraoka, Lecture of Computer Science (vol.11) computer architecture, 2nd edition, Scientist com, Nov. 1985, p.123-127.”

If the name of the document is long (more than 50 letters), it is impossible to write it down directly in the column “【物件名】.” Please write down the full name of the document in the column “【早期審査に関する事情説明】” and name it properly. Then write the name in the column “【物件名】.”

【提出物件の目録】

The list of submitted documents

List up the documents to be submitted

- 【物件名】 PPH 申請書 1
- 【物件名】 **年**月**日付の拒絶理由通知書の写し及びその翻訳文 1
- 【物件名】 **年**月**日付の特許査定書の写し及びその翻訳文 1
- 【物件名】 特許可能と判断された請求項の写し及びその翻訳文 1
- 【物件名】 引用非特許文献1 1

(The name of the document) PPH request form 1
(The name of the document) Copy and translation of Notification of Reasons for Refusal in the INPI on (date) 1
(The name of the document) Copy and translation of grant in the INPI on (date) 1
(The name of the document) Copy and translation of the claims indicated patentable in the report on the state of the art and written opinion in the INPI on (date) 1
(The name of the document) Cited non patent literature 1 1

Use the same name as “【物件名】” under “【提出物件の目録】”

Attach the document here as image file or text.

【添付物件】

The list of attached documents

- 【物件名】 PPH 申請書
- PPH request form

【内容】

<p>PPH申請書 (REQUEST FOR PARTICIPATION IN THE PATENT PROSECUTION HIGHWAY (PPH) (PILOT) PROGRAM)</p>							
<p>A. 書誌事項 (Bibliographic Data)</p>							
<p>出願番号 (Application Number)</p>	<p>特願0000-000000</p>						
<p>B. 必要事項 (Request)</p>							
<p>出願人による以下に基づく特許審査ハイウェイの申請: (Applicant requests participation in the Patent Prosecution Highway (PPH) (pilot) program based on:)</p>							
<p>先行庁 (国際調査機関又は国際予備審査機関を含む) (Office of Earlier Examination (OEE))</p>	<p>フランス産業財産庁(INPI)</p>						
<p>先行庁の審査書類形式 (OEE Work Products Type)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 国内出願の審査結果を利用 (PPH又はPPH MOTTAINAI) (National/Regional Office Action(s))</p> <p><input type="checkbox"/> PCT国際段階成果物を利用 (PCT-PPH) (WO-ISA, WO-IPEA or IPER)</p>						
<p>先行庁の対応出願番号(国際出願番号含む) (OEE Application Number) (Incl. PCT Application Number)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 60px; text-align: center;">00000000</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 60px; text-align: center;"></td> </tr> </table>			00000000			
		00000000					
<p>C. 必要書類 (Required Documents)</p>							
<p>I. 先行庁のオフィスアクションの写し、及び、その翻訳文 (OEE Work Products and, if required, Translations)</p>							
<p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 先行庁のオフィスアクションの写しを添付する (A copy of OEE work products is attached; or)</p> <p><input type="checkbox"/> ドシエ・アクセス・システム又はPATENTSCOPEにおいて、オフィスアクションの情報が提供されている (The office is requested to retrieve documents via the Dossier Access System or PATENTSCOPE)</p>							
<p>2. <input checked="" type="checkbox"/> 上記1. の日本語又は英語の翻訳文を添付する (A translation of documents in 1 in a language accepted by the Office is attached; or)</p> <p><input type="checkbox"/> ドシエ・アクセス・システム又はPATENTSCOPEにおいて、上記1. の英語翻訳が提供されている (The office is requested to retrieve documents via the Dossier Access System or PATENTSCOPE)</p>							
<p>II. 先行庁における特許可能な請求項、及び、その翻訳文 (Patentable/Allowable Claims Determined by OEE and, if required, Translations)</p>							
<p>3. <input checked="" type="checkbox"/> 先行庁出願において特許可能と判断された全請求項の写しを添付する (A copy of all claims determined to be patentable/allowable by OEE is attached; or)</p> <p><input type="checkbox"/> ドシエ・アクセス・システム又はPATENTSCOPEにおいて、特許可能と判断された全請求項の情報が提供されている (The office is requested to retrieve documents via the Dossier Access System or PATENTSCOPE)</p>							
<p>4. <input checked="" type="checkbox"/> 上記3. の日本語又は英語の翻訳文を添付する (A translation of documents in 3 in a language accepted by the Office is attached; or)</p> <p><input type="checkbox"/> ドシエ・アクセス・システム又はPATENTSCOPEにおいて、上記3. の英語翻訳が提供されている (The office is requested to retrieve documents via the Dossier Access System or PATENTSCOPE)</p>							
<p>III. 引用文献 (Documents Cited in OEE Work Products (if required))</p>							
<p>5. <input checked="" type="checkbox"/> 引用非特許文献を添付する (A copy of all documents cited in OEE work products is attached (excluding patent documents); or)</p> <p><input type="checkbox"/> 引用非特許文献も引用特許文献もなし (No references cited)</p>							

IV. 先の提出書類の援用の表示 (Previously submitted documents)			
6. <input type="checkbox"/> 上記において「添付する」とチェックした書類のうち、先に提出した書類を援用する (If any of the above mentioned documents have been submitted before, please specify:)			
		(先行庁のオフィリアクションの写し、及び、その翻訳文)	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
		(先行庁における特許可能な請求項、及び、その翻訳文)	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
		(引用非特許文献)	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
V. 提出物件 (援用する物件は除く) (List of names of documents submitted) 早期審査に関する事情説明書に記載のとおり。			
VI. 提出を省略する物件 (List of names of documents omitted for submission)			
		(先行庁のオフィリアクションの写し、及び、その翻訳文)	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
		(先行庁における特許可能な請求項、及び、その翻訳文)	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
		(引用特許文献)	
		米国特許第0000000号公報	
		ドイツ出願公開第00 0000 000 000.0号公報	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
		<input style="width: 100%;" type="text"/>	
D. 請求項の対応関係 (Claims Correspondence)			
<input checked="" type="checkbox"/> 先行庁の特許可能な全請求項と完全に一致する (請求項の削除、追加、並び替えが無く、請求項の文言が完全に一致する) (All the claims in the application sufficiently correspond to the patentable/allowable claims in the OEE application; or)			
<input type="checkbox"/> 請求項の対応関係は、以下の表に記載 (Claims correspondence is explained in the following table)			
	本出願の請求項 (Application Claims)	先行庁の対応請求項 (Corresponding OEE claims)	対応関係に関するコメント (複数の出願と対応する場合は、コメント欄に対応する出願番号も記載して下さい。) (Explanation regarding the correspondence)
	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>
E. 見解書、予備審査報告の第VIII欄 (国際出願に対する意見) に対する釈明 (explaining any Box VIII observations of WO/ISA, WO/IPEA or IPER)			
<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>			
出願人又は代理人 (Name(s) of applicant(s) or representative(s)) 早期審査に関する事情説明書に記載のとおり。			
提出日 (Date) 早期審査に関する事情説明書に記載のとおり。			
提出者 (Signature(e) of the applicant/representative) 早期審査に関する事情説明書に記載のとおり。			

【物件名】 **年**月**日付の拒絶理由通知書及びその翻訳文

Copy and translation of Notification of Reasons for Refusal in the INPI on (date)

【内容】 Attach the copy of the document.

Use the same name as “【物件名】” under “【提出物件の目録】.”

【物件名】 **年**月**日付の特許査定及びその翻訳文

Copy and translation of grant in the INPI on (date)

【内容】 Attach the copy of the document.

【物件名】 特許可能と判断された請求項の写し及びその翻訳文

Copy and translation of the claims indicated patentable in the report on the state of the art and written opinion in the INPI on (date)

【内容】 Attach the copy of the document.

【物件名】 引用非特許文献1

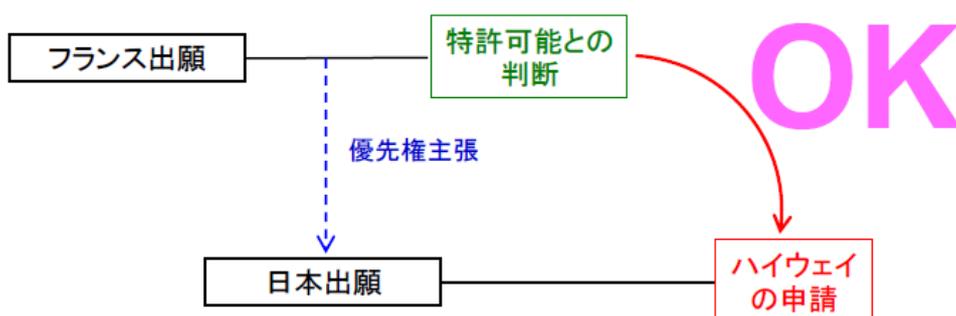
Cited non-patent literature 1

【内容】 Attach the copy of the document.

書面手続の場合、オンライン手続の場合と比べ、審査待ち期間（PPH 申請からファーストオフィスアクションまでの期間）が長くなる傾向があることに留意されたい。

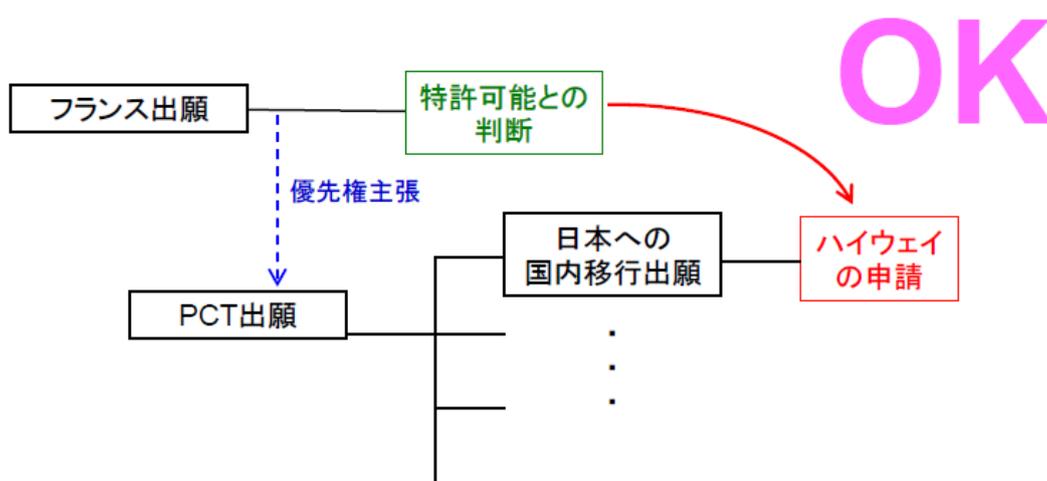
A

(Case I)
- パリルート -



B

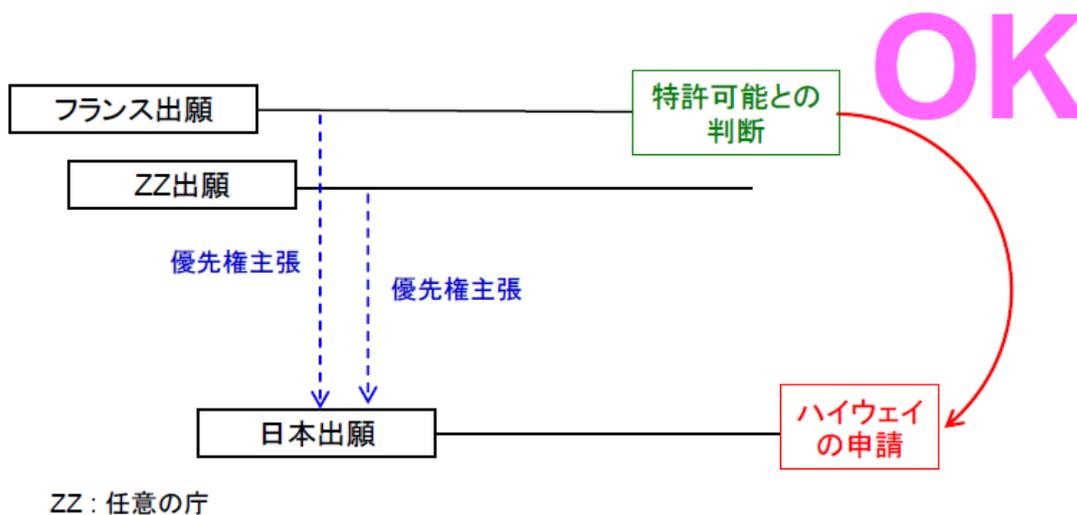
(Case I)
- PCTルート -



C

(Case I)

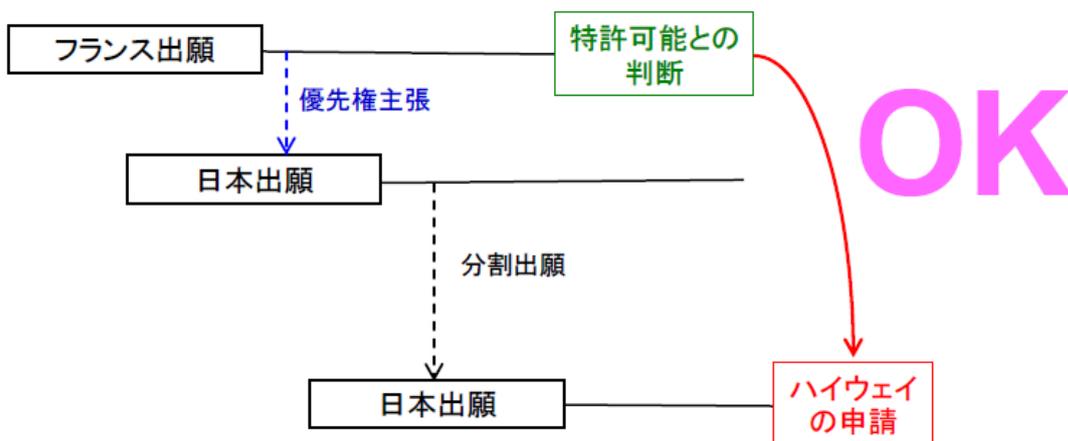
- パリルート: 複数の出願に基づく優先権主張 -



D

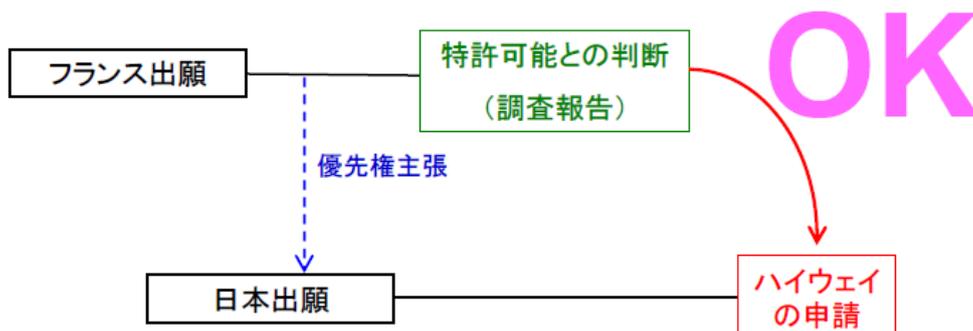
(Case I)

- パリルート: 分割出願 -



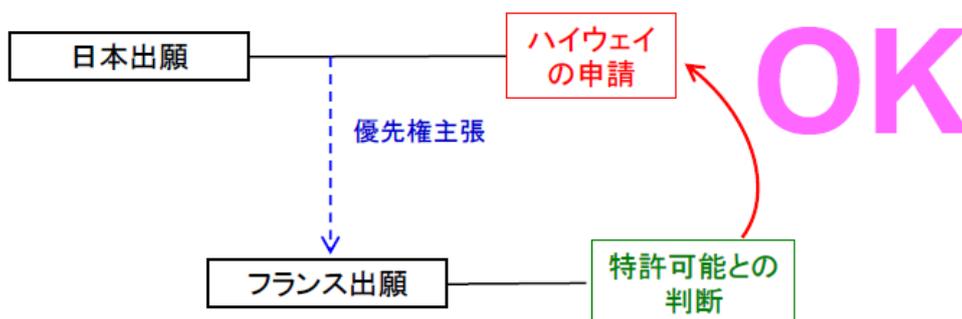
E

(Case I)
- 調査報告 -



F

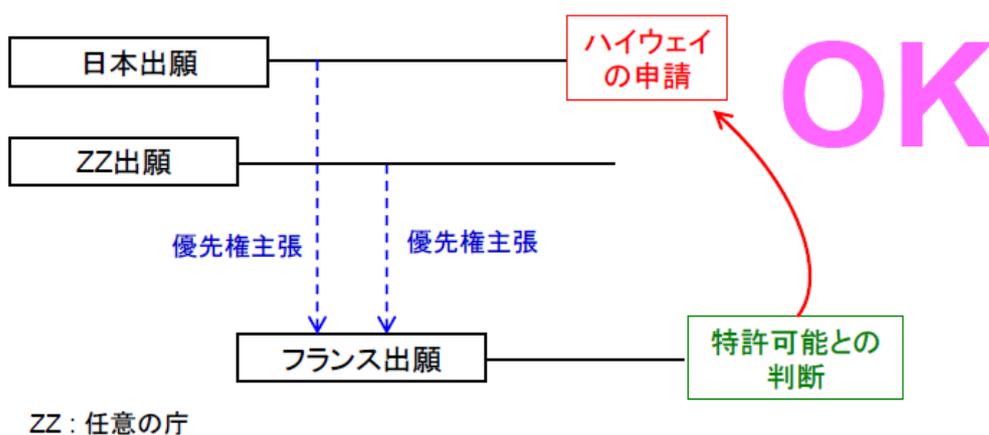
(Case II)
- パリルート -



G

(Case II)

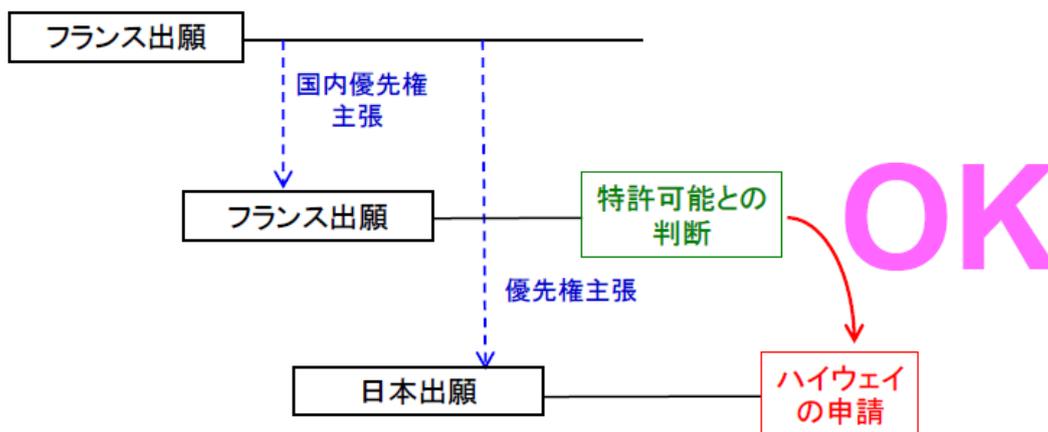
- パリルート: 複数の出願に基づく優先権主張 -



H

(Case III)

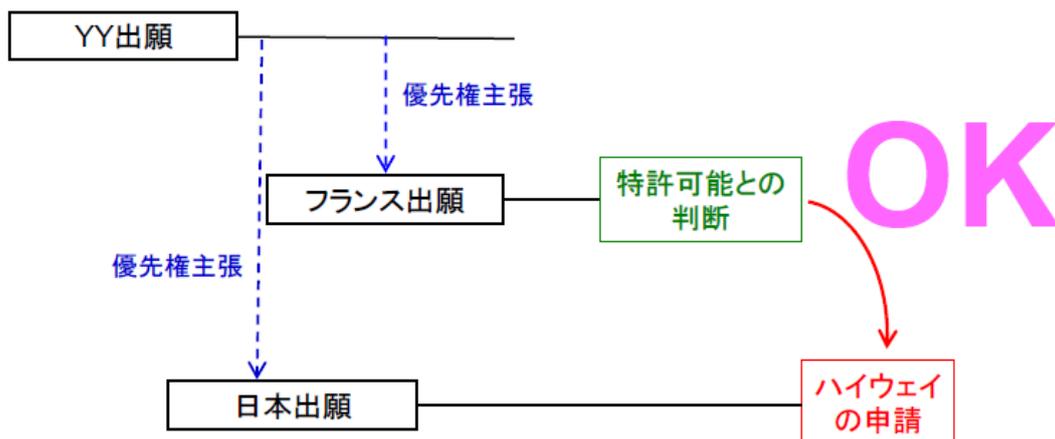
- パリルート: 国内優先権主張 -



I

(Case III)

- パリルート: 第三国出願に基づく優先権主張 -

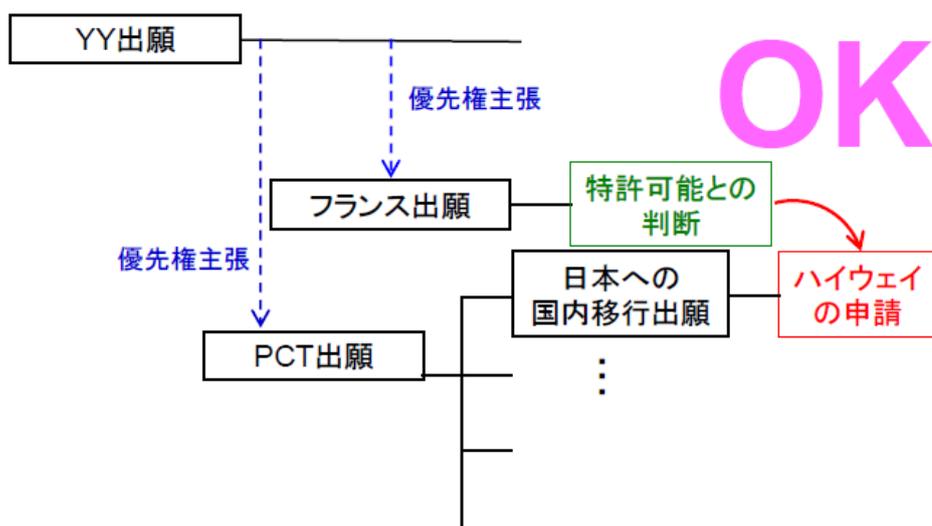


YY: 第三国

J

(Case III)

- PCTルート: 第三国出願に基づく優先権主張 -



YY: 第三国

K

要件(d)を満たさない事例 - ハイウェイの申請前にJPOが審査着手 -

